

2023年度 日本工学院専門学校											
デザイン科／インテリアデザイン専攻											
デザイン実習 4 A											
対象	3 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	飯田 裕樹			実務 経験	有	職種	インテリアデザイナー/建築家				
担当教員紹介											
商業インテリアを中心に、グラフィック、ウィンドウディスプレイなどのデザインを手掛ける。クラウドイコルッチデザインにて、12年勤務の後、2011年に独立、現在に至る。2019年度より、卒業設計も担当。											
授業概要											
インテリアデザインに深く関わるデザインの発想力を身に付けることを目的とします。実際のプロジェクトにおいて、どうデザイン的にアプローチするかについてのアイデア、方法、手法を学ぶため、複数の短期的で段階的な課題制作を通して発想力、分析力を鍛え、具体的、多角的なデザインスキル、およびデザインセンスを修得します。											
到達目標											
1. 課題条件は少々抽象的で、解釈の幅を広く取れるような最低条件のみ。短い時間でデザインのモチーフやコンセプトを立てる。 2. 課題条件を分析し、ユニークなアプローチでデザインの解答、あるいは提案に持っていく。 3. イメージを伝えるための最適な方法を各自で考え、他者に意図を伝えられる表現方法の幅を広げる。											
授業方法											
テーマに対して、どのようにデザイン的なアプローチができるかのエクササイズとしての課題を設定する。課題解決型の授業ではなく、デザインの方法論、デザインの視点の訓練のため、短期で複数の課題に取り組む。成果物は図面、模型、パース全てではなく、伝えたい表現に適した方法であれば自由とする。											
成績評価方法											
プレゼン	20%	制作物の発表方法、内容について評価する									
成果発表	40%	提出課題完成度を総合的に評価する									
リサーチ	20%	制作準備と過程を評価する									
平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業に出席するだけでなく、制作にあたっては各自で授業の事前準備と事後のフォローを前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業全体の3/4の出席、かつ3課題のうち、2課題については成果物を作成することが評価を受ける必須条件。											
教科書教材											
道具、材料は必要時に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	講師自己紹介（作品解説）学生自己紹介。第1課題説明。『好きなデザイン、空間、デザイナー、を紹介する。』										
第2回	第1課題途中経過ヒアリング、アドバイス										
第3回	第1課題発表、講評。第2課題説明『使いたい素材を選定(1or2)、それに合う他の材料(色も含む)3種を選ぶ、』										
第4回	第2課題発表、講評。第3課題説明『並べる、というテーマで何かをデザインする(選んだ素材を用いること)』										
第5回	第3課題途中経過、アイデアの要素出し/具体的なアイデア出し、エスキス、アイディアスケッチ作成 / 指導										

2023年度 日本工学院専門学校	
デザイン科／インテリアデザイン専攻	
デザイン実習 4 A	
第6回	第3課題途中経過、発表に向けての資料作り/図面あるいはイメージ化、ボード化。チェック
第7回	第3課題発表、講評。第4課題説明『第3課題を踏まえて、一つの空間を構成する。』
第8回	第4課題途中経過、アイディアの要素出し/具体的なアイディア出し、エスキス、アイディアスケッチ作成 / 指導
第9回	第4課題途中経過、エスキス、アイディアスケッチ作成 / 指導
第10回	第4課題途中経過、発表に向けての資料作り/図面あるいはイメージ化、ボード化。チェック
第11回	第4課題発表、講評。
第12回	卒業設計についての指導
第13回	卒業設計についての指導
第14回	卒業設計についての指導
第15回	卒業設計についての指導